

エクストリームシリーズ 2023 那珂川大会

■優勝チーム コメント

『ふきのとう』

中田 路子さん

1day レースでは珍しい、ナイトステージがあるこの大会は毎回ナイトでやらかして悔しい悔しい思いをしていたので、今年こそは！！と意気込みまくっての出場。メンバーは昨年アメリカのナショナルチャンピオンシップに出場したふきこ、ひろき、ダズ。

スタート直後、裏山を駆け上り指示書を取りに行く。いきなり心拍が爆上がりで血の味がする。威勢よくスタートしたが、すぐにバテた。。重力を感じさせない走りの BUNNY WORKS に軽快に抜き去られる。

なんとか指示書を 3 番手でゲット、次は手旗信号のチームチャレンジ。焦る気持ちを抑えて冷静に回答、無事に次のマウンテンバイクへ進む。

さっそく牽引してトップチームを抜かすが、峠道で速度は上がらない。またもや無重力の軽快な漕ぎで抜かされるが、トレイルの入り口を迷う事なく入って前に出る。すぐにドロドロのツルツル地獄が待っていた(この日はずっと雨)。自転車を担いで登るがそのまま滑り落ちてしまう。チームで協力してなんとか抜けたが、トップ通過でこれだと後続は大変だな…と思いながら進んだ。

ピークへ登り CP1 を取り、尾根を伝って CP2 へ向かうが地図にない送電線路との分岐でハテナ？？になるが、方角との違いで気が付いて正しい尾根へ向かうトレイルを下る。次のコルで沢へ下るはずだがこの分岐でまたもハテナになる。。。疑心暗鬼だったが正解と信じて下ったらスタッフが見えて一安心。ここで迷ったチームが多かったらしく、後で聞いたがここを抜けた地点で後続に 7 分差がついたみたい。やはり MTB の地図読みは難しい…

ロードに出てからは峠でも街中でも牽引。ダラダラしてしまいがちなバイクセクションでも気を抜かず全力で進みカヤックへ向かった。

慎重に艇を選んでフキコ→ヒロキ→ダズさんの順番で漕いだ。最近のリバーカヤックの練習ばかりしているのでモリモリ漕いでさらに後続との差を広げることに成功。

例年、カヤックの後に足攣りを発症してしまっていたが今年は問題なく次のバイクに進む。順不同なので帰り道を考慮し 6→5→4 で進む。チームチャレンジのおせんべい焼きではほっと一息つけたが、後続が来るんじゃないかとソワソワしすぎて、焼きが足りず固かった(;o;) またゆっくり訪れたい。4 を取り、また峠を越えてスタート地点に戻る。3 人で連結して交代しながら峠を越える。今回作った牽引棒がなかなか良い仕上がり！ナイスヒロキ。

スタート地点にバイクを置いて、またチームチャレンジ。今度は動画と同じダンス踊る。リズム感もセンスもない自分に絶望しながらも楽しく踊って一発 OK！ いよいよ核心のナイトナビセクションに向かう！

時刻は 16 時半。日の入りは 18 時 15 分。CP は 8~12 の 5 つ。明るいうちになるべく進みたい。とりあえずさっきバイクで下ってきたロードをトレイル入り口まで全力で駆け登る。ここで後続とすれ違くと、やる気に火をつけてしまい、我々も焦りが生じてミス危険性があるからだ。

どうにか、後続とすれ違わずに山に入ることができた。10 で隣(手前)の斜面を登ってしまうもすぐにリカバリー。10→11 は尾根を 2 度切って直進、11→12 は沢筋の道におりるか迷ったけどまだ明るく、伐採後の尾根が見えたので尾根を辿って 12 へ。(明るかったからよかったけど暗闇なら沢筋の道まで下るもの有り。)

最後の車道も走り切って 18 時過ぎにゴール！

チームワークもバッチリでそれぞれの役割を全うして出し切ったレースになりました。

レース後はライバルたちやスタッフ、地元のおじさまたちと里山のつどいで交流。生ビールに地酒、美味しい BBQ で最高に楽しい時間でした。